2020,08,05　日刊建設産業新聞２面

使いやすく、環境にやさしく

写真。

9月からユニフォームを一新　日本道路

日本道路は、製作から30年以上が経過する現場等で社員が着用するユニフォームを一新し、9月1日から一斉に切り換える。新ユニフォームは、人にやさしく、地球にやさしく、そしてサスティナブルな社会づくりに貢献できるユニフォームを目指し、「未来を描く、未来へつなぐ、未来をつくる」をコンセプトに刷新した。

シンボルマーク・コーポレートカラー等のVI（Visual Identity）を意識したデザインとし、詳細な仕様については、実際に着用する社員の意見を反映しデザイン変更を重ね「使いやすさ」を追求した。

企画・生産は、総合スポーツ用品メーカーのアシックスジャパンに依頼し、アシックスの持つスポーツ知見を応用し、可動部に伸縮性の高い素材を採用するなど、着用者の快適性、運動性を考慮したつくりとなっている。

デザインは、多数の大手企業制服デザイン実績を持つハイドサイン社に依頼し、ハイドサイン社が得意とする再帰性反射材の効果的活用手法を新ユニフォームに採用して、着用者の安全性向上を図った。

素材については、東レが開発した原料にサトウキビの廃糖蜜等を含む植物由来のポリエステル繊維を採用することで環境に配慮したサスティナブルなユニフォームとした。

新ユニフォームは、作業服としてシャツ、ジャケット、パンツ、ベルトおうよび防寒服からなり、パンツについては女性サイズも用意している。また、ヘルメットも新ユニフォームと一体のデザインで刷新。通気性がよく、飛来物等から目を保護する収納式のシールドを備えている。

なお、未使用の旧ユニフォームは、難民や災害被災者に対して衣料品を提供する日本救援衣料センターに寄付する予定。